

すいませんm()m
3週間も遅れて
しまいました…



みずほの丘の希望

西中職員指導理念/生徒活動指針 Action/踏み出す力 Thinking/考え抜く力 Teamwork/協働する力

不平等だと感じる社会のなかで

唯一平等なのが

受験

君たちは、 自分の頭で 意思決定 できただろうか…



早春の西中は
生徒の「桜咲く…」を
願う気持ちであふれている

- おみくじの札は「①大大吉～⑬大凶」まで13種類おいてある。リアリティを求めて、「凶」もかなりの割合でセットしてある。
- でも、2/20・24・25の公立入試前3日間は、「大大吉」の「くじ」しか用意していない。
- そして、そこには3年を担当した先生方からの熱く心あたたまるメッセージが記されている…

今年も気休めに「おみくじ」を設置した…当初はそれほどでもなく、おみくじを引く生徒は少なかったが、ここに来てやたらと好評だ。■休み時間、女子数人のグループで順番に引き合い、自分の「運」を比べ合う生徒がいる。■何かの用事で職員室に来たついでに一人廊下で無言に手を合わせ、ゆっくりとおみくじを引き、ご託宣を読み込む生徒もいた。■「大大吉」を引いて、渾身のガッツポーズを決める男子…、まだ合格したわけではない、勘違いするな…。■2年生で「大大吉」を引き当て、「来年の受験までのお守りにする」…と話してくれた生徒もいた。校長室から見える生徒がおみくじを引く風景は、まさに悲喜こもごも…、生徒たちの受験に挑む想いが透けて見える。さて保護者の皆様、「2/20・24・25」は3年職員がご託宣を記したスペシャル版、それ以降も数日(公立合格発表の日までは)ベーシック版を設置しておりますので、ご来校された際は、お遊びにお付き合いいただき一本引いてみてください。…意外と当たるかも知れません…?

2026年度 富士見市立西中学校高等学校等入学者選抜等近況状況

2/26・27の公立高校入学者選抜「学力検査」「実技検査・面接」において今年度の入試もクライマックスを迎える。2026年(令和8年)度県公立高校志願者状況は以下のようになっている。公立高校の統廃合等により、全体的な倍率等は大きな変化がないものの、少子化対策や社会的な教育政策の影響が反映されている。応募者数の減少は少子化の影響を受け公立高校自体の定員削減が実施されていることで、仕方のない現実だと捉えられるが、他の要素も大きいと考えられる。社会的に言われている私立志向、都内を中心とした大学附属高校への進学希望や高校授業料無償化等、何らかの影響があるものと考えられる。また、ここ数年の傾向として

2026年度県公立高校入学者選抜状況

校種	応募者数	倍率	学科	倍率
全日制	35,976名 (-2,878名)	1.04倍 (-0.06倍)	普通科	1.08倍
			専門学科	0.92倍
			総合学科	0.89倍
定時制	1,060名(-43名)	0.55倍		

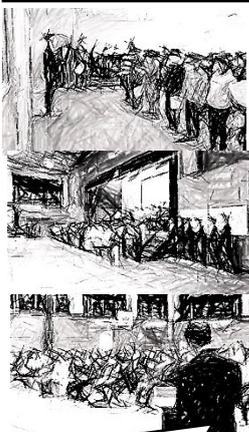
*()内は昨年度比の実数
 顕著なものは広域通信制高校(サポート校も含む)への進学拡大であろう。事実、全県の傾向として、全日制的県公立・私立高校の進学者が毎年減少しているにもかかわらず、通信制高校への進学者のみ500名以上の勢いでここ数年増加している。本校においても本日2/24時点での進路先決定者は70名(133名)にも及ぶ。何と52.6%という割合であり、例年の西中進路状況と比較しても15~20%も多い数字である。現時点での進路決定先といえば…国立・県外・特支等の公立も含まれるが、その大半は私立高校であり、広域通信制高校(サポート校)である。このような状況を鑑みると世間で言われている「高校無償化の副作用」「高大一貫志向」「学習の自由度と多様性」等の波は西中にも押し寄せている。次年度から県公立高校の受験システムが変わる。■学力検査のマークシート化、■国語の作文廃止、■全員受験生の面接実施、■自己評価資料(生徒自身が作成するエントリーシート)の提出、■学力重視の強化…。その影響がどのように高校受験体制に影響されるか注視しつつ、緑ジャ・青ジャの生徒たちには、この赤ジャの生徒たちの頑張りを見届けてほしい。令和8年5月に来年度受験確定版が公表される。さて、西中から今週末の県公立入試に臨む予定の生徒は61名を数える。君たちは大丈夫だ!だって…「君たちは天才だ!」「君たちは秀才だ!」「君たちはできる人だ!」「君たちは聡明だ!」「君たちはクレバーだ!」「君たちは努力の人だ!」「君たちはイケメンだ…」「君たちはイケ女だ…」…。いいか!大切なのは「自信」を持つこと…つまり「自分を信じること!」。自分に意識を集中させれば見える景色も変わってくる。「自分はできる!」「自分はすごい!」と思い込め…。とにかく「根拠のない自信」を持つこと…。「根拠のない自信」は、君が忘れていた、あの日の、あの時の、今までの頑張り鮮明に思い出させてくれるはずだ!体調は万全に…。西中の生徒たちよ!健闘を祈る!

令和7年度(8年)3月行事予定

日	曜	活動内容等
1	日	
2	月	安全点検日
3	火	中央委員会 県公立追検査
4	水	部×
5	木	3年生を送る会
6	金	県公立入学許可候補者発表
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	卒業式予行 3年給食最終 学校集会 専委
12	木	3年3時間授業 ⑤卒業式準備 部×
13	金	第47回卒業式 部×
14	土	
15	日	
16	月	
17	火	1・2年授業公開・学級懇談会 部×
18	水	生徒集会 ふれあいデー 部×
19	木	1年球技大会 4時間授業
20	金	春分の日
21	土	
22	日	
23	月	2年球技大会 4時間授業
24	火	3時間授業 1・2年給食最終日
25	水	短縮③(学年集会 大掃除) 部×
26	木	令和7年度修了式
27	金	学年末休業日(～3/31)
28	土	
29	日	
30	月	
31	火	年度末大晦日

令和7年度…お疲れ様でした…
令和8年度の西中もよろしくお願いいたします!

令和8年度新入生体験入学(+保護者)



3年生が新入生に指導し、西中の校歌を覚えてもらう。そんな西中の縦のつながりを深める「新入生体験入学」が2/3に実施された。この内容での実施は今年で3回目となるが…、その効果が発揮されるのは入学式だ。単純なお客様であった新入生が、中学生初日の入学式で校歌を口ずさむことができるのだ。何と嬉しい! 気持ちはもう西中生だ。生徒会の生徒も、プレゼンを作成し西中生生活を新入生と保護者に説明してくれた。お疲れ様でした。

- 3年生が新入生に校歌の唱い方をていねいに指導します。
- 体育館にて保護者の前で、3年生と新入生が覚えてた校歌を披露します。
- 生徒会が西中についてプレゼンをします。

第54回 Fujimi City マラソン出場



寒風吹く1/11にびん沼公園においてFujimi Cityマラソンが開催され、本校からも陸上部長距離班の12名が出場した。市民ランナーも出場する中で、1年 さん(男子5km)と2年 さん(女子5km)が男女それぞれの部門で、共に5位という好成績を残した。正月明けの好日、びん沼公園は一瞬、箱根の山となった気がした…。

■12名の陸上部長距離班が出場しました。

スキー! SKI! 大好き!

2026.02.06~07/青ジャスキー宿泊学習

中学生となつてほぼ1年…。この1年間の成長と中学校での学習成果を確かめるスキー宿泊学習が、2/6~7の1泊2日で、新潟県南魚沼市シャトー塩沢グレンデで実施された。

1学年は年末の「はつらつ社会体験(職場体験学習)」に引き続いてのタイトなスケジュールの中でのスキーとなる。実行委員を中心に様々なルール決め、レクの企画、バスの中での過ごし方等、放課後や昼休み、時には朝の時間帯等を活用し、議論に議論を重ね自分たちのスキー宿泊学習の企画をつくり上げた…実行委員の諸君…お疲れ様でした。でも本番はこれから…。

ここ数年の大きな課題が青ジャにも降りかかった…。ドカ雪を伴う悪天候とインフルエンザだ…。天気については時の運ではあるが…君たちの普段の行いが良好と言ってもよいだろう…。多少の風雪はあったものの2日間ともまずまずの天気と言っても過言ではなかった。ただ…なぜか埼玉の天気を心配しなくてはいけない状況になってしまったのが、少し残念だった。

そして、もうひとつの心配、インフルエンザ…。2週間程前からインフルBが流行しだしピークとスキーをずらすと、学級閉鎖や学年閉鎖措置を取ってしのでいった。当日は10名以上の欠席と少し多めではあったが何とか想定範囲内で納まってくれたと考えている。

こんな状況にも、生徒たちはグレンデに心を馳せバスに乗り込んだ…。
■青ジャの生徒は「真面目」だ。時間ややるべき事を意識して行動できる。バスの中でも、全体のスケジュールでも自分たちがやることを考える事ができる。これも、仲間(実行委員)が考え計画してくれた努力へ報いようとする仲間を思う気持ちの表れだと思う。生徒同士の指摘がよく飛び交っていた。

■青ジャの生徒も「よく食べる」。やはりいつもとは違った「旅」の環境下でテンションや食欲も爆上がりする。初日昼のカレー、夜のすき焼き、2日目朝のビュッフェ、昼のパスタ…。ほぼ完食だった。男女共遠慮なくどんどんお代わりをする。ここは新潟県南魚沼市…日本屈指の米どころの「こしひかり」はあかすずきでも食欲をそそる味だ。一心不乱に箸を進める姿は、ある意味清々しい。食欲旺盛な生徒の集団は「ポジティブな成長を遂げる…。私の経験値からの定説でもある。青ジャの成長が楽しみたい。

■青ジャの生徒は「集中力」が凄まじい。学年みんなでスキーに熱中した。2日目になれば、寒さ、辛さ、筋肉痛、ブーツの痛さ…色々なことが相まってリタイアしたくなる生徒もいるのだが…。みんな前向きにスキーを、雪を、寒さを楽しんでた。その証拠にみるみるスキーが上達していった。イントラさんも「みんながんばってくれました!」と誉めていた。時はミラノ・コルティナ冬季五輪の真っ最中。スキーに目覚めた生徒もいるかも知れない。

■青ジャの生徒は「疲れ知らず…」だ。2日間に凝縮された様々な学習…。スキーは元より、バスレク、食事、学年レク、花火大会、入浴、部屋の整理整頓、反省会、健康観察、スキー講習、そして帰路のバス…。楽しみつつも懸命にこなしていた。スキーへの挑戦、学年レクでの友とのつながり、サプライズの花火、わいわい入浴…。本当に主体的に取り組んでくれた。疲れ知らずとは言いつつも、…帰りのバスでは、ほぼ全員爆睡だった。

2日間の体験は、間違いなく青ジャを成長させてくれたと思う。2年生へのきっかけを与えてくれたに違いない。いつも行事の度に思うが、このきっかけを次に活かせるかどうか、行事の成否なのだと思う。成果も課題(道具や物の管理等)も含めて、すべてを2年生へのエネルギーにしてほしい。

青ジャの諸君…お疲れ様でした。楽しかったね…。先生方も昨年度秋から、準備等大変お疲れ様でした。心から楽しめるスキー宿泊学習でした。

